

十月十七日、北豊前農民組合、筑後農民組合、並に京築地區組織準備會の三團體を以つて組織された全豊縣聯合會は日豊九州同盟會と全豊福佐聯合會との中間に介在して、土地は勤く農民へ、立入禁止立毛差押絶對反對、土地取上絶對反對、ファツシヨ粉碎、資本家地主の爲の戦争絶對反對等のスローガンの下に果敢なる闘争を以つて組合の擴大に努めたので漸次發展の見るべきものありしが、其の新興氣分の旺盛なると組合内部に潜在する青年幹部の左翼意識とは本年二月に至り、企救郡金救町に於ける農村匡救土木事業反對運動に、組合員二百五十名を動員し勢の趣くところ遂に暴行を以て事業を妨害し檢舉總數百二十名に達し、内体刑若くは罰金刑に處せられたる者委員長等八名を出した次いで十月の第二回年次大會は解散を命せられて組合發展

法財人協調會福岡出張所

に大なる障害を來したるのみならず、最高幹部たる教育部長落合久生の運動との絶縁、青年部長野澤四郎の組合離脱等あり、かくて十一月二十八日田原委員長の入獄幹部組合の受難相次ぎ殘留幹部に於て極力現状維持に吸々たるの狀態ではあるが、現在支部一二、組合員六六四名町村議員七名を有し、兎に角北九州並に豊前地方に於ては果敢なる闘争を展開した年であつた。

〇、全豊（全國會議派）福佐聯合會

日常闘争に於て借金棒引、區劃整理反對、土地取上絶對反對、税金は地主に負擔させろ、帝國主義戦争反對等の矯激なるスローガンの下に左翼的行動に出づる本組合も、數回の檢舉に依り一時殆んど活動休止の状態にあつた本組合も、昭和七年十月の第五回年次大會前後を通じて行はれ

法財人協調會福岡出張所